

くまーるの森びとでは、クロモジアロマオイルなどの商品化をより一層進めるために、製造方法を改善するための研修や、販売促進・宣伝のためのイベント・体験ワークショップの開催、販売のための商品パッケージの製作などを実施いたしました。

今後も、地域の各種団体などと連携しつつ、クロモジなどの森林特産物の商品化を進めてまいります。

1. 森のハーバルライフ（共催）森のハーバルライフ実行委員会（令和1年11月4日久万高原町）

ふるさと旅行村において、上浮穴高校生の参加と協力を得て「森のハーバルライフ」を開催しました。好天に恵まれて、多くの来場者が有り、ハーブ関連の出店やステージイベントを楽しんでいただきました。

高校生がクラブ活動で作ったアロマオイルやトマトカレーなどの実演販売や、久万高原町内の美術館・天体観測館・自然博物館の施設や学芸員の仕事内容などの紹介を通じて、久万高原の自然と暮らしぶりを紹介しました。

① ポスター制作・印刷



③ テナント販売の様子



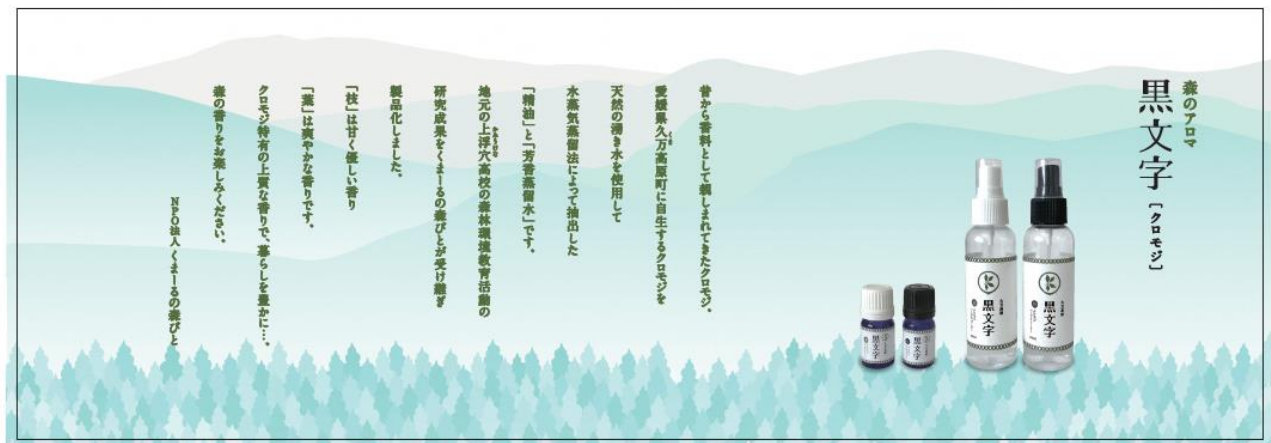
② 上浮穴高校生との協力活動



2. 販売用パンフレットのデザインと印刷

くまーの森びとで製造しているクロモジオイルとウォーターを販売するために、デザイナーの都築さんに依頼して、パッケージとパンフレットを製作しました。久万高原の深い森林のイメージをベースとして、クロモジや製造方法の紹介などを簡潔に紹介する内容になっています。

現在、この黒文字のデザインイメージをアイデンティティにして、商品の宣伝・販売を進めています。



久万高原 森のアロマ「黒文字」

クロモジとは？
クスノキ科に属する常緑低木です。名前の由来は樹皮の表面に出る黒い点から樹皮の斑紋を文字に見立てたものといわれています。久万高原町周辺には、葉葉に芳香性の強いクロモジをはじめ、クロモジ・ヤマコウバシ・ダンコウバイ・アラブナ・シロモジなどが分布しています。枝と葉はお茶や香料の精油・芳香蒸留水として、材は薪炭のみ炭子に搾えられた高級炭種として各々から親しまれています。

黒文字ノ学名: *Lindera umbellata*
E. noda
久万高原町農事事務所
Jalan Lindera (478-1770) 久万高原町農事事務所
TEL: 089-478-1770
※本パンフレットは複製・転載を禁じます。

暮らしのそばに。
クロモジの葉は、心を落ち着かせリラックスさせると同時に、気持ちを高揚させる、見ごたえ十足のハーブから調製してある香です。

黒文字ノ学名: *Lindera umbellata*
E. noda
久万高原町農事事務所
Jalan Lindera (478-1770) 久万高原町農事事務所
TEL: 089-478-1770
※本パンフレットは複製・転載を禁じます。

アロマオイル 容量(50ml) ¥3,000(税別)

アロマウォーター 容量(500ml) ¥500(税別)

黒文字
久万高原
アロマオイル
アロマウォーター

NPO法人くまーの森びと
〒791-1205 愛媛県久万高原町電話089-4789-4
TEL 089-4789-4
URL 089-4789-4



3. オイル・精製水の成分分析と精製技術の視察研修（令和2年2月16～17日 福岡県）

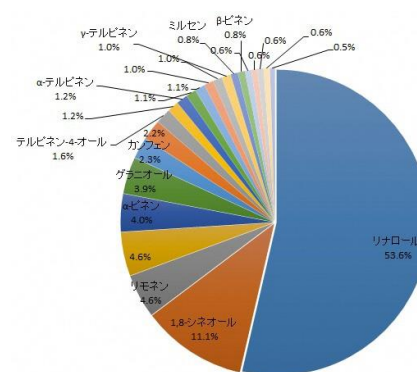
上浮穴高校から引き継いだ蒸留方法をより改善するために、役員3名が直接、蒸留器メーカーを訪問し、成分分析の結果や蒸留方法について指導を受けました。蒸留する際の温度管理や材料の仕込み方法、機材の管理上の注意点、新しい大型の蒸留器の説明など、専門家から詳しく説明を受けました。

原料の「葉」と「枝」それぞれに成分分析した結果、一般的に知られている本州のクロモジとは異なる内容でした。一般的なクロモジ（オオバクロモジ）ではリナロールがアロマの主成分とされていますが、当地のクロモジ（ケクロモジ）では酢酸ゲラニルやシネオールが多く含まれます。四国山地固有のクロモジのアロマ成分は、一般的なクロモジとは大きく異なり、特有の香りを持っている事が確認されました。

① 大型蒸留器の視察



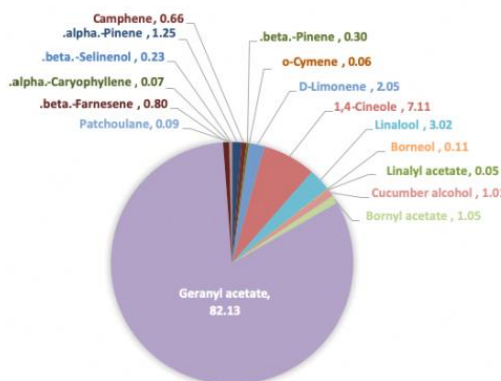
② 一般的な成分の一例



リナロールが主成分で、甘い香りが特徴です。

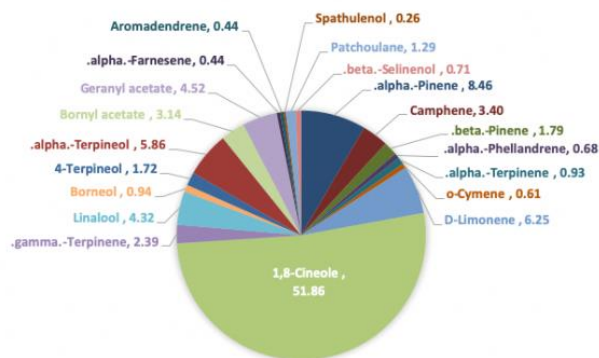
③ 久万高原のクロモジ精油の分析結果

① クロモジ枝精油



「枝」のオイルは、酢酸ゲラニルが主成分で、甘いバラのような香りが特徴。

② クロモジ葉精油



「葉」の精油は、シネオールが主成分で、爽やかな柑橘系の香りが特徴。

4. テントサウナでのアロマ体験会 (令和2年2月14日 松山市)

サンシン暖炉(松山市)の協力を得て、フィンランドスタイルのテントサウナを実体験しました。このテントサウナは蒸気を立てる際に、水にアロマオイルを加えてアロマの香りを楽しむものです。サウナのリラックス効果をクロモジアロマの香りにより一層高める効果が認められました。

また、テントサウナは屋外に設営できるため、久万高原の自然の中、サウナとアロマを同時に楽しむことが期待できます。今後、サウナや暖炉・薪ストーブのユーザーに、クロモジオイルやウォーターを販売するための可能性を確認できました。



5. 森林アロマ研修会 (令和2年3月8日 久万高原町)

これまでの取り組みや研修の結果報告と、今後の活動の方向性を検討するために、森田先生と児玉先生を講師に招いて、森林アロマの可能性や楽しみ方の実例を指導していただきました。当初、一般の方にも幅広く参加していただき、森林アロマの魅力や可能性を知っていただく予定でしたが、折悪しく新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、感染防止のため会員のための研修会としました。

講師の森田先生から、アロマ関連の事業者とくまーの森びとが連携して、クロモジ製品の拡販に取り組む枠組みなどの提案が有りました。今後、会員の意見も取り入れながら具体化していきたいと思っています。

森の香水作りの講習も、クロモジオイルをベースとして、講師の児玉先生が用意して下さった各種のオイルを組み合わせながら、参加者それぞれの好みの香りを作って楽しみました。

